

福島県高等学校教職員組合  
執行委員長 永井 國之 様  
組合員の皆様

福島高教組第75回定期大会が開催されますこと、誠におめでとうございます。

新型コロナウィルス感染症が我々を襲い、流行の終息は未だ見通せません。通常とは異なる対応を余儀なくされる中、皆様方には、生徒の安心・安全を優先しながら学校教育活動の維持にご尽力いただいておりますこと、福島県高等学校長協会を代表してご慰労申し上げるとともに、心より感謝申し上げます。

東日本大震災・原子力発電所事故から11年が経過いたしました。本県の復興は未だ道半ばであり、教育現場においても課題は山積しております。さらに、教員の働き方改革、新学習指導要領や観点別評価のスタート、教職員免許法の改正など教育を巡る状況は、日々変化しております。県の教育行政においても、第七次福島県総合教育計画、県立高校改革計画等、本県教職員全てに関わる新たな施策が推進されております。

このような中、現場の教職員の声を本県教育に反映させることの意味において、福島高教組の果たされる役割は非常に大きなものであります。

今後とも、本県の未来を担う子どもたちのためにご尽力いただきますようお願い申し上げますとともに、組合員の皆様のご健勝と福島県高等学校教職員組合の益々のご発展をご祈念申し上げます。

令和4年6月11日

福島県高等学校長協会会长 鈴木 芳人

お祝い

お届け台紙名 『ハーモニー』  
お届け日 2022年06月10日

福島県高等学校教職員組合  
執行委員長 永井 國之様

大会のご盛会を祝しますとともに、ご参会の皆様の今後ますますの  
ご健勝をお祈りいたします。

福島県議会  
議長 渡辺 義信

0961—024123

福島県高等学校教職員組合

執行委員長 永井國之様

第七十五回定期大会の御盛会を心からお祝い申し上げます。

御参会の皆様におかれましては、日々、本県の高等学校教育の充実に取り組まれるとともに、働きがいのある職場づくりと生活設計の実現に御尽力いただいたおりすることに心から敬意を表します。

県立高等学校における改革が進められ、新型コロナウイルスの感染拡大によって人々の意識や行動様式が激変する中、学校現場における社会の要請や働き方についても大きな変化が求められております。本大会が、皆様にとって、その団結をさらに強化し、搖るぎない信念のもと、多くの課題に立ち向かい、目標実現に邁進する上で、実り多いものとなりますことを御祈念いたします。

令和四年六月吉日

福島県議会県民連合議員会

会長 瓜生信一郎



## 福島県高等学校教職員組合 執行委員長 永井國之 様

福島高教組第75回定期大会の開催まことにおめでとうございます。

組合役員および組合員の皆様の日頃のご尽力に敬意を表しますと共に、定期大会のご成功と貴組合の益々のご躍進を祈念いたします。

長引くコロナ禍とロシアのウクライナ侵略戦争は、私たちの暮らしに様々な形で影響を与えております。ロシアのウクライナ侵略は、武力行使の禁止などを義務付けた国連憲章違反であり、私たちは皆さんと連帯し、ロシア軍の即时撤退を強く求めます。

この危機に乗じて「軍事費の増額」や「憲法改正・反撃能力の保有」の声がありますがこれは大変危険な流れであり、教育予算や社会保障費こそ増額すべきです。また、唯一の被爆国である日本は、今こそ憲法9条をいかした平和外交のイニシアティブを発揮し、世界の国々に呼びかけ外交努力を重ねるべきです。

教職員の皆様には、教え子を誰一人戦場におくることのない平和な日本を守るために、平和憲法の大切さや戦争の悲惨さ、愚かさについて、子どもたちと一緒に考えて頂きたいと思います。

今後とも、皆様の願いを私たちにお寄せいただき、教育予算の増額や教員多忙化解消、少人数学級の要求実現に向けてご一緒に頑張りましょう。

2022年6月11日 日本共産党福島県議会議員団

9 6 0 - 8 1 1 5

福島市山下町8番1号 高校会館

福島県高等学校教職員組合 御中

960-8670

福島市杉妻町2-16

公明党福島県議団

TEL (024) 521-7617

6月6日 午前 午後 なし



A 9 2 7 1 5 2 8 5 5 8 3 4 A

① / ② / ③ / ④ 普通券  
リ

福島県高等学校教職員組合

第七五回定期大会のご盛会を

心よりお慶び申し上げます

今後ますますのご発展と

皆様方のご健勝をお祈り申し上げます

公明党福島県議団

福島県高等学校教職員組合 執行委員長 永井 國之 様

## メッセージ

福島高教組第75回定期大会の開催、おめでとうございます。

私たちは長年にわたり多忙化、長時間労働の解消に取り組んできました。教職員にとって「働き方改革」は学校改革であり、豊かな社会の実現に向けての改革でもあります。これを契機に、奪われた私たちの資源である「時間」を取り戻さなければなりません。2020年4月1日から改正給特法第7条に基づく「指針」が全国で適用になりました。今後とも共通の課題に関して歩調を合わせ、改善を求めていく等の運動をともに展開していければ幸いです。

原発震災から11年が経過した今、福島第一原子力発電所で増え続けるトリチウムなどの放射性物質を含む汚染水の海洋放出の方針が決定され、自然環境に負担を押し付けようとするだけでなく、風評被害が再燃する懸念もあります。さらに、新型コロナウイルス感染拡大は新たなステージに入り、変異株が猛威を振るっています。感染拡大を抑え、私たちの命と生活を守ることを最優先とした対応が今の政府には求められるところです。

福島県教職員組合では、コロナ禍での学習と交流の機会として、Zoomを活用したオンラインでの講演会や学習会を行ってきましたが、この4月に行った教育研究分科会推進委員会は久しぶりの対面開催とすることことができました。福島県出身の広瀬義徳さん（関西大学教授）を講師としてお招きして「自立？孤立？やっぱり支え合い！！」を演題としてご講演いただいた他、県内から集まった組合員で、全国教研の分科会報告をもとにした協議を行いました。オンライン開催では成し得なかった、「同じ空気感を共有する」ことの良さを改めて感じました。今年度は、青年部・障がい児教育部・カリキュラム編成講座の東北ブロック大会が福島県で開催されます。東北の仲間とのつながりを感じられるよう、感染症対策を講じ、安心して参加できる集会を開催したいと考えます。

私たち福島県民は、原発震災により、未来に大きな禍根を残す場に立ち会いました。現在でも被災者の人権が脅かされています。もうこれ以上、負の遺産を子どもたちに渡してはいけません。「教え子を再び戦場に送らない」ためにも、現行憲法を護りいかす取り組みを共に強化・拡大ていきましょう。貴大会が充実した討論の上に確固たる運動方針が確立され、運動のさらなる前進がはかられますよう祈念して、お祝いと連帯の挨拶といたします。

2022年5月31日

福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 穎子

（福島の美しい景色を、未来につなげていきましょう。）

福島県高等学校教職員組合  
執行委員長 永井 國之 殿

## 御 祝 詞

貴労組、第75回定期大会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。

また、3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により、被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。こくみん共済 coop は、被災された皆さまの一刻も早い生活再建が果たせますよう、役職員一丸となって取り組んでまいります。

さて、私たちを取り巻く情勢は、原油・原材料高に加え円安の加速、ロシアのウクライナ侵攻の影響も重なり、社会の混乱とともに経済も厳しい局面を迎えてます。これらは企業収益の悪化と同時に、急激な物価高騰による生活者の負担増が懸念されます。一方、国内のコロナ感染状況は第6波の収束が見通せず、地域によってはリバウンドの傾向もみられます。長期化するコロナ禍では非接触型の日常が当たり前になり、社会や経済活動、そして私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。

このような環境の下、こくみん共済 coop 中期経営政策「New-Zetwork」の締めくくりとして最終年度の取り組みを進めてきました。特に、制度改定された「マイカー共済」や福島県自転車条例制定に伴う「個人賠償責任共済」の推進強化により一定の成果を確保することができました。あらためて協力団体皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます。

今後の新たな展開として、新年度からはじまる中期経営政策（～2025年度）の指針に基づき、「組合員の満足度向上」と「事業の安定化」に向けて取り組みます。

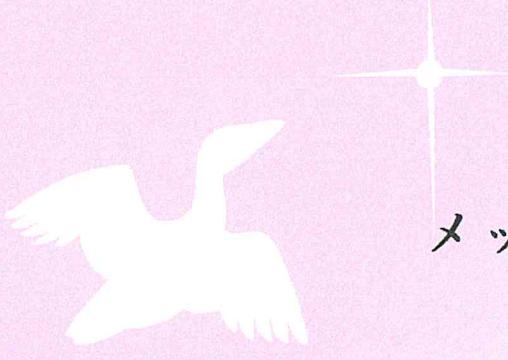
最後になりますが、福島県民は東日本大震災と原発事故、令和元年の東日本台風災害や2年続きとなる福島県沖地震など、多重の苦難を強いられています。こんな時だからこそ、こくみん共済 coop の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現に向けてともに力を合わせてまいりましょう。

貴組織のご健闘と今後益々のご発展をご祈念申し上げお祝いと連帶のメッセージとさせていただきます。

2022年5月吉日

こくみん共済 coop 福島推進本部  
本部長 八巻 正一





## メッセージ

福島県高等学校教職員組合第75回定期大会の開催誠におめでとうございます。常日頃より<ろうきん>に対し多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東北労金福島県本部は、2022年5月末現在、総預金残高5,477億88百万円、総融資残高2,721億83百万円となっております。これもひとえに貴労組をはじめ各会員の皆様のご支援とご協力の賜物とあらためて心より厚く御礼申し上げます。

当金庫では、「新型コロナウイルスの感染症」への対応を最優先課題とし、役職員一丸となり、働く方々が安心して生活を送るための将来への資産形成、ローン相談などへの対応を強化し、不安払拭に向けた対応を進めてまいります。

東北労金は、今後も福祉金融機関としての役割を發揮するとともに、会員・利用者の皆様から選ばれる「ろうきん」として、「ろうきん」だからこそできる商品やサービスを提供してまいります。今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴労働組合と組合員の皆様、そしてご家族の皆様のご多幸をご祈念申し上げ、定期大会のお祝いのメッセージとさせて頂きます。

2022年 6月 11日

東北労働金庫福島県本部  
常務理事県本部長 小野 利市